




# 令和7年度 防災とボランティアのつどい 登壇者プロフィール


## 第1部 基調講演


	<p><b>青木 賢人(あおき たつと)氏</b> 金沢大学 人間社会研究域 地域創造学系 准教授 令和6年石川県 能登半島地震対策検証委員会 委員</p>
	<p>金沢大学地域創造学類准教授。自然地理学の立場から、自然環境と人間社会の持続可能な共生のありかたについて研究・教育をしている。近年は、白山手取川ジオパークや白山ユネスコエコパークを通じた環境理解や環境共生社会の構築、能登半島地震や奥能登豪雨災害などの自然災害に対する住民の理解や行動の分析を通じた「住み続けられる地域づくり」に関心がある。</p>

## 第1部 トークセッション

	<p><b>谷口 天洋 (たにぐち たかひろ)氏</b> 穴水町 子育て健康課 課長 1993 年穴水町役場入庁。2023 年子育て健康課長に配属。2007 年能登半島地震では、当時健康福祉課職員として被災者の生活再建支援・災害義援金配分の事務に従事。2011 年東日本大震災では、石川県職員・輪島市職員とともに、宮城県名取市の支援として、被災者生活再建支援の窓口設営準備業務に関わった。2024 年能登半島地震では、災害ボランティアセンター・地域ささえあいセンターの所管課長としての業務に従事している。</p>
--	--

	<p><b>神徳 宏紀 (じんとく ひろき) 氏</b> 社会福祉法人 珠洲市社会福祉協議会 総務管理課 主事 珠洲ささえ愛センター 主事 能登半島の先端、石川県珠洲市生まれ。金沢市の商社に勤務していたが、地元の祭礼や人のつながりに魅せられて 2017 年に珠洲市に戻る。珠洲市社会福祉協議会に入職し、社会福祉士等の資格取得の他、地元消防団等にも入団。日頃から地域防災に関わる事となる。 2022～24 年の間に 3 度の地震と 1 度の水害を経験し、いずれも災害 VC を担当。また、2023 年からは珠洲ささえ愛センターにて住民の生活再建支援を担当。</p>
---	---

	<p><b>森山 奈美 (もりやま なみ) 氏</b> 株式会社御祓川 代表取締役 一般社団法人能登復興ネットワーク 理事 石川県七尾市生まれ。(株)御祓川の設立に携わり、平成19年に代表就任。能登の事業者支援を軸に、EC ショップ「能登スタイルストア」や、外部人材活用を得意とした経営伴走を行う「能登の人事部」を運営しており、能登地域における中間支援機能を担っている。令和6年能登半島地震をきっかけに、(一社)能登復興ネットワークを立ち上げ、能登各地の復興を担う個人・団体への人的支援や情報発信を行うほか、(一財)里山里海未来財団の専務理事としても活動中。</p>
---	---

	<p><b>上田 啓瑚（かみだ けいご）氏</b>  <b>防災科学技術研究所 特別研究員</b>  <b>一般社団法人 BOSAI Edulab 理事長</b></p>
	<p>三重県津市出身。愛知県で防災リーダーとして活動する祖父の影響で防災に関心を持つ。高校2年に津市民防災大学を受講。熊本地震の際に初めて被災地支援を行う。静岡大学地域創造学環地域環境・防災コースにて地域防災や防災教育を学ぶ。静岡大学学生防災ネットワーク創設メンバー。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程に進学し防災教育について研究。U-Inspire JAPAN 元代表、よんなな防災会学生部運営メンバー。2022年に一般社団法人 BOSAI Edulab を設立し理事長に就任。2023年より国立研究開発法人防災科学技術研究所に入所しつつ筑波大学大学院博士課程に進学。文部科学省科学技術教育アドバイザー(2025年4月～)。</p>

## 第2部 パネルディスカッション（+第1部トークセッション登壇者）

	<p><b>栗田 暢之（くりた のぶゆき）氏</b>  <b>認定特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）代表理事</b>  <b>認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 代表理事</b></p>
	<p>1964年、岐阜県生まれ。名古屋大大学院修了。大学職員だった1995年、阪神大震災の学生ボランティア延べ1500人のコーディネーターを務めた。2002年に名古屋市でNPO法人「レスキューストックヤード」を設立。国内外50カ所以上の被災地での支援活動に加え、防災・減災の事業を担う。支援団体同士の連携を図るために16年にできた組織「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク」(JVOAD)の代表理事を務める。</p>
	<p><b>頼政 良太（よりまさ りょうた）氏</b>  <b>関西学院大学 人間福祉学部 助教</b>  <b>被災地 NGO 協働センター 代表</b></p>
	<p>大学入学と同時に学生ボランティアサークル「神戸大学学生震災救援隊」に参加。能登半島地震(平成19年)被災地での足湯ボランティアを皮切りに、夜回りによるホームレス支援、フリースクールサポートといった様々な活動や、数々の国内の災害救援活動に従事。被災地 NGO 協働センターのアルバイトスタッフから正社員を経て、平成27年、同 NGO 代表に就任。現在は助教として、関西学院大学人間福祉学部で災害時のボランティア活動や災害復興について研究している。</p>
	<p><b>澤 邦之（さわ くにゆき）氏</b>  <b>内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(普及・防災教育・NPO ボランティア連携担当)付参事官補佐</b></p>
	<p>平成15年4月 環境省入省(自然環境保全の行政分野を担当)  令和3年7月～令和5年5月 環境省福島地方環境事務所(除染仮置場等の管理・原状回復を担当)  令和5年6月～令和7年3月 復興庁出向(福島の復興に向けた除去土壌の再生利用等の調整を担当)  令和7年4月～ 内閣府(防災担当)出向(被災者援護協力団体登録制度等を担当)</p>